

段取り改善

小ロット、短納期生産は段取り時間の短縮で勝負！
事例を通して学ぶ改善のヒントと効果的なやり方

1 なぜ、段取り時間短縮が必要なのか？

～小ロット、短納期生産は段取り時間短縮が決め手！～

2 段取り改善の効果、定義、考え方

3 段取り改善のポイントと手順

～ポイントは外段取り・内段取り・後始末に区分して考える～

【ポイント1】 段取り替えの仮手順の作成

【ポイント2】 段取り時間の実態把握

【ポイント3】 内段取りの外段取り化

【ポイント4】 内段取り時間を集中的に短縮する

【ポイント5】 並行作業にトライ

【ポイント6】 訓練(方法、手順書の改訂)を繰り返す

4 段取り動作の改善の着眼点とヒント

(1) ムダを見極め排除し、時間短縮を狙うには？

●足・手・眼・物・機械・戻りの6つの動作

(2) 動作経済の基本4原則からのヒント

●動作を“楽”にするヒント

●動作の“距離を短く”するヒント

●動作の“回数を少なく”するヒント

●動作を“同時におこなう”ヒント

5 段取り改善をより効果的に進めるヒント

(1) 「見る」と「観る」の違い

(2) 専門家を集めてノウハウを共有化

(3) 誰が見てもすぐわかる作業手順書

(4) ビデオ活用のメリット・デメリット

(5) 推移グラフの作成

(6) 公開段取り替え

(7) ひと目でわかる段取り改善チェックリスト

6 段取り改善〔事例紹介〕

●段取り替え台車 ●オカモチ ●段取り替えアーム

●管理板 ●組合表などの帳票類 …など